

リスク管理

社会の要請や消費者のニーズに応え続けるために、グループ内でリスク対応力やコミュニケーション力を高め、損失の防止と利益の拡大に努めます。

基本的な考え方

ユニー・ファミリーマートグループは、地域密着経営を実践しながら、企業価値の最大化を目指しています。そのためにはリスク管理を適切に実施することが不可欠です。

社会・生活インフラとしての機能を持つリアル店舗では、ご来店いただくお客様に速やかに、安全で安心な商品をお届けできるよう、多様なリスクを想定した予防対策が必要です。

平常時のみならず、大規模災害などを含めた緊急時への対応も重要です。お客様や地域社会を含めたステークホルダーへのネガティブな影響を最小限にとどめるため、危機管理規程はもとより事業継続計画(BCP)などを整備し、緊急時に速やかに情報収集を行い、機動力ある対応ができるようにしています。迅速に通常のオペレーションに復帰できるよう、平時・非常時ともに全力で努力します。

これらのリスク管理を確実に遂行していくために、当社の統括のもと各グループ会社と情報を共有し、意思統一をしながら推進に当たっています。

推進体制

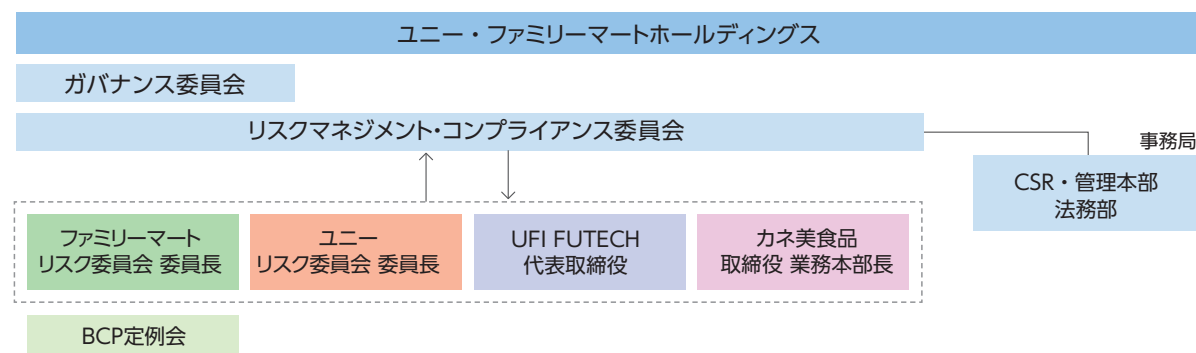
リスク管理もコンプライアンスと同様、当社グループ全体が一体となった体制で推進しています。全体の統括は当社のCSR・管理本部法務部が担い、「リスクマネジメント・コンプライアンス委員会(RC委員会)」が「ガバナンス委員会」と連携し、全体のリスク管理を監督します。RC委員会は四半期に一度行われ、ファミリーマート、ユニーの社内委員会の代表者と、UFI FUTECH、カネ美食品の業務本部長が進捗状況を報告しています。

事業リスクの特定は、ワークショップ方式をとっています。当社の主管部署を中心に、社会情勢やトレンド、直近

の事例から想定されるリスクをマップ形式で抽出した上で、各部門での管理方法を検討します。またグループ会社ごとの事業リスクの抽出や対策立案も行っています。特定された各社のリスクを踏まえながら、グループ全体として対応すべきリスクについてRC委員会で審議しています。

災害などの危機管理については、年4回のBCP定例会などで緊急時の対応を定期的に協議しています。また年1回、災害対策本部を設置して訓練も実施しています。リスクが顕在化した際の危機管理の対応は、主に「食の安全」「事件・事故」「自然災害」「不正・法令違反」について、エスカレーションシステムを重点的に構築しています。

ユニー・ファミリーマートグループのリスク管理推進体制図



主要なリスク

当社グループでは、以下の7つのテーマ・領域が、比較的风险が高いと認識しています。リスクマネジメントにおける重要項目として位置付けながら、取引先や店舗と協力して対応を進めています。

- ① 事業展開国や地域での景気・消費動向や同業・異業態の小売業他社の動向
- ② 自然災害の発生
- ③ CVS事業でのフランチャイズマネジメント
- ④ 食品の安全・安心の確保
- ⑤ ESG関連の法規制等の強化
- ⑥ 個人情報の取り扱い
- ⑦ 情報システムの管理

新興リスク

中長期的な観点から、以下のリスクについては、今後さらなる対応が必要になる可能性があります。リスクを低減する適切な施策を随時検討しながら、新たなビジネス機会や価値の創出につなげていきます。

- ① 個人情報保護法改正に伴う個人情報の管理
社内規程の改定や研修の強化により、コンプライアンス意識のさらなるレベルアップを図っていきます。
- ② 環境法規制の強化
パリ協定や海洋プラスチックごみ問題など環境問題意識の向上による、環境法規制の強化への対応に向けて、業界団体とも連携しながら、環境負荷の削減に向けた取り組みを検討していきます。

重要なリスクへの対応状況

当社グループは、地震や台風といった自然災害に備える施策を早くから進めてきました。特に日本は、全世界で発生するマグニチュード6.0以上の地震の約2割が集中している地震大国です。そのため本社機能の維持、生産工場や物流網の確保、被災地域全体の店舗オペレーションのあり方までを視野に入れたBCPを構築することが求められます。

地震発生時のシミュレーションは、震度や震源の位置が異なる複数の想定パターンを設定して行うとともに、過去の地震発生時の「実体験」に基づいて実証された要素を組み入れながら、調達から生産、物流、本部機能や店舗オペレーションの状況にいたるまでのストレス状況を検証しています。実体験を細かく組み入れることは、将来に発生し得る地震災害における初動対応に大きく役立つため、各地域での経験の収集も、リスク管理の重要な要素となっています。

地球温暖化に起因するとされる、集中豪雨やゲリラ豪雨についても同様に、各地の状況も踏まえながら、BCPの策定に活かしています。

リスクカルチャーの醸成

当社グループは、すべての役員や従業員が、それぞれの責務や立場から、自社のリスクについて理解を深めることが、リスク管理を徹底して行っていくために不可欠だと考えています。

そのため、ファミリーマートではコンプライアンス研修と同様に、e-ラーニングによるリスク管理の研修を年1回行っています。この研修は、取締役をはじめ全従業員が対象となっています。

またこれまでも本部社員を対象に、自然災害や事故

緊急時行動要項



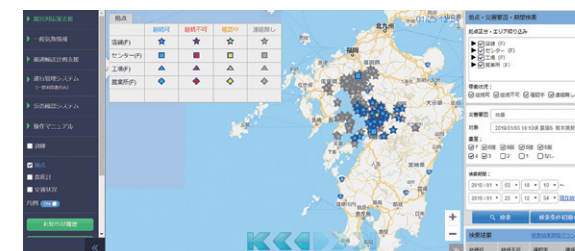
- 憂い無ければ備えなし！常日頃の危機意識が大切。
- 避難場所は必ず確認する。
- 何よりも自分の命は自分で守る。
- 危ないと思ったら商品や売上金に構わず逃げる。
- 自助7、共助2、公助1で行動する。

店舗名

名前



ファミリーマート ストアスタッフ携帯用「緊急時行動要項」カード(表紙)



ファミリーマート災害伝言板

に遭遇した際のリスク意識を醸成する手段の一つとして、安否確認の訓練を年4回実施してきました。2018年から約17,000の加盟店においても安全訓練の一環として取り入れており、さらなる意識向上を目指しています。

他のグループ各社においても、独自の研修を導入してリスクに対する意識を向上させるために取り組んでいます。今後は、ホールディングスとグループ各社が連携した、包括的なリスク管理の仕組みを強化していきます。